

編集後記

愛知万博が開催されている。新幹線を名古屋駅で下車し学会のある千種駅へ向かうまでに、車内では愛・地球博の案内が目に入り車掌の英語のアナウンスが聞こえてくる。1970年の大阪万博には行ったことになっているのだが、赤ん坊だったために覚えていない。1978年東京・船の科学館で開催された宇宙博に、アポロの持ち帰った月の石、ジェミニ、サターンロケットが展示された。はじめて東京に連れて行ってもらい、人の多さに驚きながら月面着陸船やサターン1段目の大きさに心奪われていたことを思い出した。

新聞報道によるとITERの誘致については夏のG8首脳会議までに合意をめざして折衝が行われている。はじめて係わったWT-3トカマクでの実験では放電時間は数100msだった。LHDでプラズマを観測する学生には磁場閉じ込めプラズマが数秒続くのは当然のことのようだ。愛知万博に

行った子どもたちの中にはITERの燃焼プラズマを見るものもいるかもしれない。

住んでいる団地には2畳ほどの広さのベランダがあり、そこに鉢植えの薔薇を2本置いた。冬に苗木を買って求め、妻が広口のテラコッタに植え替えたときは、枝には一葉もなく寒々しかった。いまでは、日当たりのよい南向きの空間を与えられて、膝上ほどの背丈に枝を張り緑碧の葉を茂らせている。ここ1週間ほど五月としては気温の低い日がつづくなか枝先についた3つの蕾がわずかに膨らんできた。白い蕾の薔薇は、ゆきさんという。十年ほど前に北山の植物園で見た立ち木の花を思い出し開花を静かに心待ちにしている。

プラズマ・核融合コミュニティ、学会誌を通じての交流・意見交換は良い刺激となり・仕事を向上させる貴重な情報をいただくことも多い。感謝いたします。

(岩前 敦)

プラズマ・核融合学会役員

会 長	高村 秀一	副 会 長	山中 龍彦	藤原 正巳	常務理事	岡村 昇一 (総務委員長)
理 事	榎戸 武揚 (広報委員長)	岡野 邦彦	尾崎 章 (財務委員長)	田中 和夫 (プログラム委員長)		
	際本 泰士	佐藤浩之助	永見 正幸	堀岡 一彦 (広告委員長)		
	田辺 哲朗	長 照二 (出版委員長)				
	二宮 博正	畠山 力三				
	松岡 啓介 (企画委員長)	吉田 善章 (編集委員長)				
監 事	長谷川 満	藤山 寛				

プラズマ・核融合学会誌編集委員会

編集委員長・チーフエディター 吉田善章 (東大新領域)

エディター 関子秀樹 (九大), 関 昌弘 (原研), 田中雅慶 (核融合研), 西村博明 (阪大), 福山 淳 (京大), 藤山 寛 (長崎大)

編集委員 相澤正満 (日大量科研), 安藤利得 (金沢大院理), 井深真治 (東工大院理工), 岩前 敦 (京大院工), 江角直道 (長野高専), 遠藤琢磨 (广大院工), 粕谷俊郎 (同志社大工), 菅野龍太郎 (核融合研), 近藤公伯 (阪大院工), 榎田 創 (産総研), 篠原俊二郎 (九大院総理工), 清水勝宏 (原研那珂), 下妻 隆 (核融合研), 鈴木 哲 (原研那珂), 鈴木千尋 (核融合研), 高杉恵一 (日大量科研), 力石浩孝 (核融合研), 波多江仰紀 (原研那珂), 服部邦彦 (東北大院工), 林康明 (京都工繊大), 檜垣浩之 (筑波大プラズマ), 松本和憲 (富山県大工), 南 貴司 (核融合研), 村上定義 (京大院工), 森下和功 (京大エネ理工研), 山本 靖 (京大エネ理工研), 湯上 登 (宇都宮大院工)

乱丁・落丁本は、ご面倒ですが学会編集委員会宛ご送付ください。送料当方負担にてお取り替えいたします。

プラズマ・核融合学会誌第81巻第6号

編集・発行

〒464-0075 名古屋市千種区内山3丁目1-1 4階

社団法人 プラズマ・核融合学会 編集委員会

Tel. 052-735-3185 Fax. 052-735-3485

E-mail: jspf@nifs.ac.jp URL: http: www.jspf.or.jp/

印刷 株式会社荒川印刷

2005年(平成17年)6月25日

定価1,365円(本体1,300円)

本誌に掲載された寄稿等の著作権は(社)プラズマ・核融合学会が所有しています。

編集委員会開催日について 当学会誌の編集委員会は原則として、毎月、第1金曜日に開かれています。但し、第1金曜日が休日あるいは5日以降の場合はその前週の金曜日に開かれます。